2019/5/20(月)

地域経営論中間レポート

経営学部国際経営学科3年学籍番号201701889　押切里実

カレーフェスティバルと横須賀

１、はじめに

　出身地である神奈川県横須賀市は、軍港の街として有名だ。スカジャン、ドブ板通り、ジャズ…。

　ところで、横須賀の名物といえばよこすか海軍カレーである。横須賀市によると「明治期の日本海軍は、イギリス海軍を範として成長してきましたので、栄養バランスがよく、調理が簡単なカレーに目をつけ艦艇での食事に取り入れました。最初は、イギリス水兵と同様にカレーをパンにつけて食べていました。しかし、これではどうも力がでないということで、小麦粉を加え、とろみをつけてごはんにかけて食べたところ、「これはイケル！」ということになり、以後、日本海軍の軍隊食として定着しました。」と解説されている。

　そんな軍港とカレーで有名な横須賀で、現在一大イベントの一つとなったよこすかカレーフェスティバルについて地域活性の観点からレポートする。

２、よこすかカレーフェスティバル

　横須賀市は平成11年5月20日に「カレーの街」を宣言した。そして同年からよこすかカレーフェスティバルを毎年開催している。

カレーの街よこすかの公式サイトによるとカレーの街よこすか推進事業のメインイベントとして、「よこすかカレーフェスティバル」を実施しており、例年5万人ほどの来場者があるそうだ。また、平成25年には全国からご当地カレーが横須賀に結集し、“全国ご当地カレーグランプリ”を実施したそうだ。このイベントはカレーライスだけでなく、カレーパンの出店や、地元団体によるステージ発表もあり大変にぎわっている。今年も全国のご当地カレーが一堂に集まる全国でも最大級のカレーイベントとなっている。

３、名物ならイベントにして集める

　このイベントは「カレーの街よこすか」を内外に発信できるところに最大の意味があると考える。このイベントによって、行政や商工会だけの活動にならず一般市民を参加させるこ

とに成功したのではないか。来場者は、横須賀市内外に様々なカレーがあることを知り、実際に誰かが食べているところを見かけ、自身も食べるという経験をする。流れの中に横須賀はカレー(特に海軍カレー)が有名であることに触れるのではないだろうか。

　市民に広く名物がカレーであると伝わると、市民を通じて外部に広まっていく機会が増える。

　横須賀の町おこしにおいてよこすかカレーフェスティバルは重要な役を引き受けているのではないか。

４、おわりに

　このイベントは、伝統的なイベントとしてはまだ日が浅いが、横須賀はカレー発祥の地であるという歴史的な背景がある。今後このイベントが続いていくことで、「カレーといえば海軍カレーの横須賀」というイメージができ、伝統的なイベントとしての役割を担っていくのではないだろうか。

　本レポートではよこすかカレーフェスティバルにおける地域活性について考察した。

５、参考文献

カレーの街よこすか加盟店公式WEBサイトカレーの街よこすか「カレーの街のイベント」http://kaigun-curry.net/event\_history(2019年5月2日参照)

横須賀市(2017年2月28日)「カレーライス誕生秘話」https://www.city.yokosuka.kanagawa.jp/2150/curry/profile/profile2.html(2019年5月2日参照)

横須賀市(2019年2月15日「どうしてカレーの街なの？」https://www.city.yokosuka.kanagawa.jp/2150/curry/profile/index.html(2019年5月2日参照)

横須賀市観光情報サイト「ここはヨコスカ」『よこすかカレーフェスティバル2019』「イベント」https://www.cocoyoko.net/event/curry-fes.html(2019年5月2日参照)